

平成18年度 第5回松山地域協議会会議録(概要)

日 時 平成19年2月28日(水) 13:30~16:40

会 場 松山総合支所 講堂

出席者

1号委員 富樫 茂 阿部 茂 寒河江 久也 小田 和夫 齋藤 尚

今田 充代 須田 良

2号委員 山中 俊 土田 迪子 齊藤 薫

3号委員 遠田 聡 佐藤 洋子 木村 美津枝

欠席者

1号委員 菅原 功 佐藤 ゆき子

松山総合支所 支所長 平向 與志雄 地域振興課長 新館 篤  
市民福祉課長 太田 豊 建設課長 川田 進  
産業課長 難波 富也 教育振興室長 須貝 彰  
地域振興課 課長補佐兼地域振興係長 阿部 みえ  
主事 佐藤 伸 主事 乙坂 哲也

傍聴人 なし

議事日程

1 開 会

2 あいさつ

3 議長及び議事録署名委員選出

4 報告事項

平成19年度地域づくり予算について

5 意見交換

(1) 地域振興について

(2) その他

6 その他

7 閉 会

1 開会・・・進行を務める地域振興課長が開会する。

2 あいさつ

(山中会長)

第5回の地域協議会が旧議場で開催されるということで非常に身が引き締まる思いである。今回は2名の委員が欠席という報告を受けている。

第4回の協議会では地域振興に係る提言、議論を行った。今回も地域振興について皆さんからいろいろな意見をいただきたい。また、今回の協議の中には地域づくり予算も出ているようなので慎重な協議をお願いします。

(支所長)

除雪については、今シーズンは2、3回しか稼働していない状況で、大変穏やかな新年を迎えている。しかし、この暖冬により全庄内スキー大会の中止や、スキー場が例年より早く閉鎖になるなど影響が出ている。

さて、委員の皆さんの任期は3月で終了し、4月から一旦仕切り直しになる。今現在、委員の推薦の手続きを進めているが、皆様には再度委員をお願いしたいと考えている。

市では明後日から議会に入る。建設計画についてはほぼ計画どおりの進捗状況である。19年度は新たな課題等がでてくると考えられる。今日は委員の方々より忘たんのない意見をいただきたい。

3 議長及び議事録署名委員選出

地域振興課長 会議録署名人の選出について協議会施行規則第5条により委員1名を選出する。

今回の会議録署名人を須田良委員にお願いしたい。

これより会議の議長を協議会設置条例第6条第2項により山中会長をお願いします。

4 報告事項・・・平成19年度地域づくり予算について担当課長が説明。

(質疑応答)

山中会長 今、報告した事項について何かご意見等あればお願いしたい。

寒河江委員 ふれあい松山交流事業の中の友好町盟約25周年を記念したイベントについて内容をお聞きしたい。

教育振興室長 宮城松山とは、友好町盟約締結後スポーツや文化的な交流などを行ってきた。この事業では25周年を節目と考え式典等は行わないが、短期間の日程を設定して、松山地域を会場にスポーツや芸術の交流を行いたいと考えている。

富樫委員 公民館運営事業について、コミュニティ組織を設立するためのものか。山寺地区では3月中に結成する予定だが、結成されたところへの支援はあるのか。

教育振興室長 生涯学習推進事業は昨年度と同様の内容で考えている。コミュニティへの支援については別途予算に計上されている。新年度の地域づくり予算には山寺地区のコミュニティ組

織への補助金は計上されていない。

地域振興課長 コミュニティ組織の立ち上げに対する支援費については、一公民館いくらという形ではなく、節ごとに予算を組んでいる。研修等を実施するときなどは随時、地域振興課の方に連絡していただきたい。

富樫委員 前回の会議では、コミュニティ組織への支援費として10万8千円の予算を組むという話をしていたが、話が違うようだ。これからコミュニティを立ち上げる地区は大変だと思うので是非配慮をお願いしたい。

地域振興課長 松山地域振興費の中に食糧費、需用費等の経費が一般経費として予算計上されている。

阿部委員 生涯スポーツ振興事業について、昨年から市民体育祭に参加しているが、参加に係わる予算措置がなされておらず、公民館の予算から支出をした経緯があった。今年度はそのような予算はあるのか。

教育振興室長 昨年度は市民体育祭に係る予算措置がなされていなかったが、新年度は体育振興会があるところに9万円を助成する予算を盛り込んでいる。ただ、旧3町では体育振興会が立ち上がっていないのが現状である。しかし、財政的な支援も必要だということもあり、新年度に限り9万円を予算措置した。

阿部委員 昨年、巡回駅伝を行った際に、選手の慰労費もなかったので個人負担で実施した。

教育振興室長 巡回駅伝も市民体育祭も基本的にコミュニティ振興会を単位として参加を考えている。9万円の支援は巡回駅伝と市民体育祭に関する経費として考えていただきたい。

富樫委員 松山地区には体育振興会がない。コミュニティ振興会が組織されたらその機関で体育振興会を立ち上げそこへ9万円を補助するということだと考えていたが、組織がなくても補助を受けることができるのか確認したい。

教育振興室長 9万円の助成については、旧3町ではコミュニティ振興会が立ち上がってないため旧町を一つの単位と考えている。旧松山町全体で9万円の予算を確保するので、市民体育祭や巡回駅伝への参加費に当てていただきたいということである。

支所長 補助ではなく経費について予算計上している。

寒河江委員 市民体育祭等への参加はバスを利用できるのか。

教育振興室長 市民体育祭への参加については、公共的な車を利用する形で進めていきたい。

齋藤(尚)委員 青少年教室開催事業について、科学的なものが並んでいるが、市民憲章で「自然と歴史 文化を尊び～」とあるが、歴史を学ぶような事業をなぜもりこまなかったのか。

教育振興室長 ここに記載されていないが、松山の歴史を学ぶ事業については継続しておこなっていく。

土田副会長 花いっぱい事業の予算減は、3支所の調整で減になったのか。

地域振興課長 花いっぱい事業については、3支所の中でも事業費と事業内容にばらつきがあった。これからはボランティア形式で進めて行きたいという市の意向もあり738千円の減となった。

土田副会長 ボランティア活動で花いっぱい事業を行うということのようだが、それでも予算は必要なのか。

地域振興課長 公共施設や道路沿線などへの植栽は業者へ委託し実施するため、それなりの予算が必要となる。ただ、そのような箇所についても方向性としては自治会へ依頼してボランティアで実施していければいいと考えている。これから新年度以降に整理していきたい。

富樫委員 説明の中に事業費の5%減のシーリングが基本のため、前年度より予算が減額になったとあった。花いっぱい事業に限らないが、予算減になっても今年度と同様に同じ地区で事業実施ができるのか。地域の活性化を考えるのであれば、新しいものに取り組んでいかなければならないと思う。今後はそういう視点で事業実施を考えていただきたい。

地域振興課長 本所の担当課と十分協議し全市的に取り組む事業について調整していきたい。

齋藤(尚)委員 地場産品振興事業を中心に地域づくりを進めていけないものだろうか。地域づくり予算はものを作っていく予算だと思う。人、もの、仕組み、金を上手く組み合わせていけばもっと良くなると思う。

佐藤(洋)委員 地場産品振興事業について、どういうものがあるのか、何を振興していこうとしているのか、長い期間この事業で交流を行ってきたと思うが、どういう人たちが参加しているのかを生産者としてお聞きしたい。

この地域では何を地場産品として生産していこうと考えているのか。

産業課長 これまでも旧町において地域振興作物として様々取り組んできた。しかしながら現実的には長続きしなかったものが多い。どういったものがよいかについては、これから市、生産者、農協等と協議していかなければならないと考えている。

この事業そのものは、商工会が中心に実施しているもので、商工会が桐生市の商店街へ行き、交流(販売)を行うものである。

山中会長 これまでの経過から見ても2~3年と一過性で終わってしまうものづくりが数多くあった。品目の選定については生産調整もからんでくるので非常に難しいことだ。庄内柿もかつてはこの地区の名産として称されていたが、今は作付面積も少なくなっていると聞く。単独で生産するよりも連合体で予算を使えば、100万円が200万円になる取り組みができるのではないかと。例えば大崎市との交流でもスポーツだけではなく、物産の販売も含めて実施し、どの時期にどの事業をやるか広く地域の人々の意見を聞きながら、食や文化、スポーツ等を考えた交流を行えば25周年らしい事業ができるのではないかと考える。

地場産品を選択するという点においても、地域でサポートしながら長い目で見ていく必要があるのではないかと。

地域振興課長 もっともなご意見である。大崎市との25周年記念事業を行うに際しては、実行委員会方式を考えている。25周年という節目の年にスポ少や婦人会、老人クラブ、芸文協、体協や農業関係者等一緒になって実行委員会を組織して中身の濃い事業を実施していきたいと考えている。

山中会長 実行委員会とした場合、この地域協議会の委員の方々にも実行委員をお願いする手法

もあるのではないか。

支所長 来年度の予算については、前年の夏頃から皆さんのご意見を聞きながら考えてきた。前年度と同じことをやるのではなく、新しいアイデアを出し合っていかなければならないと考えている。ただ、今の段階でこの予算を見直すことはできないので、ご理解を願いたい。

## 5 意見交換

### (1) 地域振興について

山中会長 来年度予算について、国や県の動向も含め情報提供をいただきたい。

支所長 企画調整部門では、松山統合保育所等整備検討事業の予算がついている。建設場所や建物の概要についてなど20、21年度に向けて検討していくための調査費である。

建設部門では、市道山田1号線と中通り1号線が完成に向かって進んでいる。また、新たに市道外山越線についても普通車が楽に通れるような道路に改良するため着手する。18年度3月補正予算では、事業繰越ということで河川運動公園のトイレ新設があがっている。

農業関係では、林道早坂線が最終年度ということで完成予定である。消防関係も順調に整備が進んでいる状況である。教育関係では、先ほどお話した補正予算へ内郷小学校のプールの整備が計上されている。新年度予算で実施した場合9月までかかるということで、補正予算に計上し7月の中ごろまでに完成させ、6年生がプールに入れるよう動いている。また、合併補助金が交付されたことに伴い、冷房がない小中学校には冷房設備を導入する予定がある。内郷小学校の外構工事は19年度予算で対応する。

座談会等でも出た意見だが、支所で使える予算やその予算の執行権限については、各課に計上された予算を支所の現場分としてどれだけ使えるのかということを検討し、今後調整に入りたいということであった。いくらかでも支所で使える予算を配当するべきだという考えが市長の方にも強くある。

県の予算では、庄内橋の架け替えのための調査費が計上になったようだ。平成元年に期成同盟会を設立してから長い道のりであった。実際の事業費は70~80億円とも言われる。早期完成に向けて引き続き、県や国へ要望していきたい。飛鳥バイパスも合併支援の関係で少しは工事のピッチがあがるのではないかと考えている。事業の進捗としては順調であると思っている。

休憩(14:50~15:00)

小田委員 地域間交流についてだが、観光事業がこれからの時代の流れを汲むと考えている。桐生市との交流は、物産品を商工会でまとめて送っていると聞く。東京松山会でも商工会やぐるぐるグリーンで調達した物品を送り販売してくるようだが、笹巻きやしそ巻き、地酒などは持っていくもの全てが完売ということである。地元産品をすぐに商売につなげるための方法を考えていかなければならないと思う。笹巻きやしそ巻きなどはその時期に作り手がいいため、平田の「めんたま畑」から仕入れているようだが、ぜひ、地元の商品を販売できるように対策

を考えていただきたい。

よく市長が「合併して良かったという地域にしてください。」と言うが、予算の意味づけが大事だと思う。コミュニティには予算をつけるが、地域づくりのための予算は少ししかないようだ。この地域の良さを出して行くには歴史と文化という観点からまちづくりを進め、お客さんを受け入れる事業を継続していかなければならないのではないか。

地域振興というのは、前年の反省を踏まえ新たなアイデアで取り組んでいくものだと思う。これからは予算を発展的に使っていくような具体的な協議をしていかなければならないと考える。

地域振興課長 交流の中での地場産品出店とあったが、東京松山会については、こちらから持っていく品目がマンネリ化してきたのではないかという感じはある。これまでふるさと松山の味を提供してきたが、5月という時期でもあり限られたもので商工会と協議し出品している。しかし、再度研究をして見直しを図る時期にきているのではないかと考えている。

合併後、新市の一体感という観点から、旧町の良さを理解してもらおうということで職員一丸となって取り組んできた。20年度から始まる総合計画の中にも旧町から引き継いだ事業もあるが、松山独特の事業を上げないと予算要求時点で予算の位置づけがなされない。現在の予算を見ても、なかなか即地域振興につながる予算というのが確保できていないように感じている。本所あるいは支所内でも十分協議しながら取り組んでいく。

小田委員 具体的な点について2点伺う。

外山の再開発についてだが、外山にログハウスなどは勝手に建ててよいのか、どういう管理になっているのか。

庁舎の利活用について教育振興室や健康福祉係が庁舎に移動するという話を聞いたが、どうなのかお聞きしたい。

地域振興課長 外山に個人で建築されているログハウスについて税対象となっているものがどのくらいあるのかはつかんでいない。週末にはそちらに来て余暇を過ごしている方々もいるようである。総合計画の中でもまだ具体的には議論はされていない。

庁舎の利活用については、今年度12名の職員が減ったこともあり、各課の空きスペースも多くなった。また、庁舎に来る方々も以前よりは少なくなったように感じる。教育振興室と健康福祉係が松山総合支所に入れば、1箇所サービスが受けられるという利点もある。課長会議では支所庁舎への移動について一致した考えとなったが、庁舎の環境改善のため3千万円程度の予算が必要となることから、支所の賑わいということも含めて今後どうして行くか議論していく。4月からの事務所の移動は先送りとなった。

齋藤（尚）委員 ログハウスに関連して衛生面の処理はどうなっているのかお聞きしたい。

建設課長 下水道処理区域には当然入っていない。本来ならば、合併処理浄化槽で処理しなければならないが、聞くところによると、バイオ処理という方法で処理しているようだ。建築確認区域でもないため、行政では特にチェックはしていない。また、宅地でもないため規制は特にない現状である。今後どう対処して行くか検討していかなければならない。

山中会長 衛生面や山林火災といった面からも、行政の権限が及ばないのであれば条例制定を早急に進めなければならないのではないかと考える。条例で線引きをしていないと、乱開発につながりかねないと思う。茗ヶ沢の自然林付近にはお湯が出る所がある。そういったことも踏まえながら進めていただきたい。

地域振興課長 災害等の条例設定については検討していく。

今田委員 東山林道の山小屋周辺に切り株が放置されている。監視体制はどのようになっているのか。

富樫委員 景観保全についての条例制定は必要だと考える。外山周辺の開発は、観光客を呼ぶ資源である。先ほどバイオ処理していると聞いたが、きちんと処理している例は少ないと思うので、汚染されていくのは目に見えている。これからの地域をどうするかなど地域づくりを検討する部署を支所に置いた方が良いのではないかと考える。そうなれば、松山地域にどのような資源があるかチェックできる。

佐藤（洋）委員 酒田市のグリーンツーリズムのホームページに本人たちの同意を得てログハウスの内容を掲載している。去年東山を視察したが、森林浴もでき同行した人たちはすばらしいところだと感激していた。宿泊施設などもあればさらに良いと考えている。

小田委員 土地の売買については森林組合に問い合わせしているようである。個人の土地が乱開発されないように進めていただきたい。

支所長 ログハウスなどは私有地に建てるためなかなか規制はできないが、何らかの手立ては行うべきと考えている。以前、携帯電話会社がアンテナの設置をしたいという話があったが、景観上断った経緯もある。今後、皆さんの意見を踏まえ考えていく。地域の問題は、地域で協議していくことが大切である。

今田委員 外山周辺の森林の中が大変荒れている。森林保全のための緑環境税が課せられるが、そのような整備にもこの税金が使われるのか。

山中会長 東山林道あたりにバードウォッチングをする絶好の場所があるが、すごく荒れている状態である。森林保全協会に整備をするための予算を回せないだろうか。

産業課長 緑環境税は個人県民税に上乗せされる税金で、放棄されて荒廃している山林を管理するために事業実施主体に支援されるものである。個人所有の森林についても、放棄されていて荒廃しているものであれば整備できる。

富樫委員 個別的な問題もあると思うが、地域づくりを検討する部署があれば、環境等総合的に把握することができるのではないかと考える。単発的なプランではなく総合的に考えなければ進まない。

支所長 来年度以降に資料を集めながら協議を進めたい。

齋藤（尚）委員 松山地域にNPOはあるのか。また、活動はしているのか。

支所長 松山管内では存在しないと聞いている。ただ、酒田市のNPO団体で活動している方はいるかもしれない。里仁館の中で任意団体としてNPOを立ち上げる動きがあるようである。

小田委員 赤松ヒュッテをもう一度利用できるようにしていただきたい。

教育振興室長 今現在は、内部がかなり老朽化しているので料金をいただいてまで利用させられ

ないということで閉鎖している。

今田委員 赤松ヒュッテを解体しそのスペースもキャンプ場として利用してはどうか。

富樫委員 乳幼児健診について、平田・松山を統合して行うということを聞いていた。4月31日で平田の診療所から医師がいなくなるということであったが、どうなるのか。松山診療所はそのまま継続なので松山で行ったらどうなのか。

市民福祉課長 県立中央病院から酒田市管内に現在5名、八幡3名、松山1名、平田1名の医師を派遣していただいている。その中で今後、平田への派遣が難しいということで、平田診療所は4月30日以降、休止となる。しかし、松山診療所への派遣は大丈夫ということなので、松山診療所を核とした地域医療圏の確保について引き続き検討していく。乳幼児健診については、健診内容の統一を図り、平成19年度は松山健康福祉センターで行うことで説明をする予定である。今のところ5月の健康診査は7名、7月の健康診査は3名の申込みがある。しかし、受診者が少なくなる場合も考えられるので、平田での健診も保護者の同意を得ながら進めていきたい。

富樫委員 本人の意向を聞き、その結果を受け平田で実施する場合もあるというのは、最初から平田へ持っていくという裏があるみたいである。その辺を明確に示していただきたい。

市民福祉課長 支援を考えた場合、少数では効果がでないと考えられる。19年度はこれまでどおり松山を会場とするが、希望があれば平田で実施してもよいということである。

## (2) その他・・・保育料及び通園バス利用料金の段階的調整について(市民福祉課長説明)

木村委員 保育時間は基本的に何時間か。

市民福祉課長 通常は午後5時15分までで、超過料金は発生するが延長することもできる。松山地域においても朝日園で延長保育をしているが、おやつ代のみいただいている。

## 6 その他

山中会長 明後日から議会が始まるが、一般質問等の傍聴に行きたいと思うのだがどうか。

支所長 議会日程等お送りしたいと思う。

教育振興室長 スクールバスの利用について、白ヶ沢、大沼新田の生徒も対象にできないかという要望があった。市有バスであるため、通年利用可能ということで実施に移す手立てを進めている。ただ、小学生までの拡大となると他地区とのバランスもあるので難しい。

小田委員 投票所が変更になったことで、投票率の低下を防ぐ対策を考えているのか。

地域振興課長 松山地区では投票所の見直しにより、投票所が12箇所から4箇所に減ったが、広く市民に期日前投票等をPRしながら、投票率アップにつなげていきたいと考えている。交通弱者が一番大変だと思うが、区長会でも自治会で協力を願うようお願いした。

須田委員 松山地区には学童保育はあるのか。

市民福祉課長 旧酒田市については、学童保育連合会を立ち上げ市が委託をする形になっている。以前、松山地区で要望調査をした際に希望者がいなかった経緯がある。今現在でも数は非常に



少ないが、家庭の状況等を考えると心配される子どもはいる。放課後児童プランなどで低学年の子どもに対する保育の対応等できることはないかと考えているところである。

支所長 放課後子どもプランについては教育委員会管轄となり学校を使うため、いろいろな問題が出てくると思う。決定次第報告していきたいと思うので、もう少し時間をいただきたい。

山中会長 今回で今年度の地域協議会は終わるわけだが、今まで出てきた課題や問題に今後取り組んでいただきたい。地域の市民の皆さんの意見をできる限り吸収し市政に反映させていただくようお願いする。

7 閉会・・・進行の地域振興課長が閉会する。